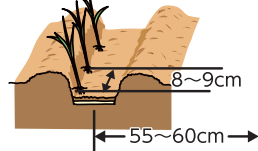


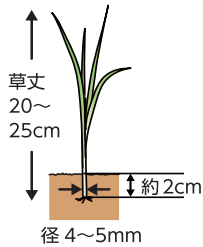
## <列植え>



溝に元肥を施し、  
少し覆土して植える



株元を強く  
踏み付けておく



これ以上の大苗に  
仕上げて植える

## <マルチベッド植え>

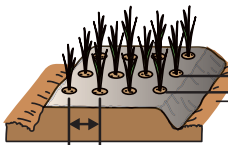
穴開き黒色  
ポリフィルム



深植え  
しないように



株元の土を指先で  
締め付けておく



15cm  
穴に苗を押し込む

植え付け後に畑が乾き過ぎるようなら、2〜3回ほど株元に灌水すると活着が早まります。

マルチベッド植えは、地温を高め、乾燥を防いで生育を促し、肥料の流亡を減らし雑草を抑止する効果があります。ただし植え付け、鎮圧には手間がかかります。両方の得失をよく考えて選択してください。

列植えは植え付け作業が早く、苗の姿勢がそろいやすく、踏み付け鎮圧がしやすく、また生育後期に列間に後作(例えばインゲンマメ、ラッカセイ、シヨウガなど)を植えられることにより、輪作を効率的に行うことができる利点があります。

植え付け作業のポイントは、苗床から苗を抜き取る時、乾いていたら灌水し、苗の大きさをよくそろえるよう、根を十分付けて抜き取り、植えるときには、根をできるだけ下方に向けて深く入るよう植えることです。ベッド植えでは木製の穴開け道具で植え穴を開けておくとなりやすく作業が進められます。植えた後は、前述の根の特性上、株元を十分鎮圧(列植えでは足で踏み固め、ベッド植えでは指先で株元を締め付ける)しておくことです。植え付けの深さは図のように根の上に土が2cmほど掛かるようにします。緑の部分に土が掛かるのは深過ぎて、後の育ちが良くありません。

付けた後に株元を鎮圧しておくことが大切です。また、油かす、魚かすなどを与えるとタネバエが発生することがあるので、これらは与えないようにします。



9月に種まきしたタマネギは、苗が大きく育った10月下旬から11月が植えどきです。タマネギは真冬に入るまでに十分分地中に根を張らせ、春になったらすぐに勢良く育つようにすることが大切です。そのためには元肥を適切に施し、特にリン酸成分を欠かさず与えておくことが大切です。根の性質が特異的で、通気性の良さを好まず、乾燥を嫌うので、元肥にたい肥は与えず、植え

## 不要農薬・空容器の処理申込受付中(11/20まで)

- 不要になった農薬や農薬の空容器は廃棄物処理業者への委託等による適正な処理が必要です!
- 不要農薬・農薬空容器(家庭用使用を除く)は「産業廃棄物」となります。
- ★対象となる不要農薬は…?
    - 一般農薬 (一部の成分を除く農薬全般)
    - 不明農薬 (破袋・開封済み・ラベルなし)
    - 水銀化合物 (例：ブリエスM等)
    - その他(特殊)農薬 (例：シヨウロン・MO等)
  - ★対象となる空容器は…?
    - プラスチック類 (例：パッチリフロアブル等の水稲用フロアブル)
    - 紙類 (例：ザイベックスM等の水稲用粒剤)
    - ビン類 (ガラス類)
    - 金属類 (例：ドロクロール等の空缶)
- 廃棄物処理業者への委託となるため、有料となりますが、不要農薬・農薬空容器を適正に処理しましょう!
- 詳しくは、折込みチラシをご覧ください